



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

地域組織の確立で  
会員間の絆の促進を

# 会員1万人目標達成に

## 現役の奮起を求める

2017年度  
全国代表者  
会議を開催

JAMシニアクラブは、9月6日午後、東京田町・友愛会館大会議室で地方代表、来賓、役員66人が出席して全国代表者会議を開催した。会議ではシニアクラブ結成以来の悲願である会員目標1万人をめぐり現役にこれまで以上の奮起を求める意見が集中した。活発な討議ののちシニア活動検討委員会による活動の見直し検討を含む17年度活動方針は満場の拍手で確認された。代表者会議終了後シニアクラブ結成15周年記念パーティーを同会場で開催した。定刻の13時30分、田一 始まりシニアクラブを 一 撈、規約に沿って議長子副会長の開会挨拶で 一 代表して大山会長が挨拶として議事進行した。

参議院比例区に立候補した藤川慎一 JAM副会長はシニアからの叱咤激励と協力への御礼を述べ、全国の職場に足を運び感じた課題とJAM産業政策を再構築することへの意欲を示した。その後退職者連合石原喜久副会長が挨拶し議事に入った。

活動方針の軸となる会員1万人の目標と地域活動の強化については、登録人数に応じた目標値を継続、現役役員の協力が不可欠とし連携強化懇談会など現役との定期協議の場で具体的に進めていく。会員に一番近いJAMの地区協毎に地域組織の結成をめざし会員の交流を深める機会を増やすとしている。

討議では10人から発言があった。主なものは①昔の仲間が残っていないので現役がしっかり組織化しないと拡大は難しい。現役が本腰をいれてやらない、本部段階でやり切っていないのではないのか②退職した者で世の中を動かしていくことが必要として組織化した。現役がシニアの必要性を本当に感じているのか疑問③なかなか現役に動いてもらえない。現役と話し合って地域の組織を大きくする雰囲気づくりが必要④地域の組織化や他地方JAMから郷里に帰ってきたときの組織化した事例はあるのか⑤広域地方から総会や代表者会議への出席枠拡大の要望など組織化・会員拡大に対する現役にこれまで以上の奮起を求める発言が続いた。

### 参議院選挙・藤川候補支援の取り組み

み、ありがとうございます。残念な結果でしたが、現役の総括、方針にもとづき、次回選挙に取り組みます。

安倍自公政権は昨年9月、憲法違反の安全保障関連法を強行に成立させた。シニアクラブは国会周辺での集会やデモに参加し、反対の意思表示を行ってきました。安倍政権は、参議院選挙でアベノミクスをもっぱら争点とし、参議院でも維新などを含め改憲勢力が3分の2を占めることになりました。選挙後、安倍政権は改憲に動き出しました。シニアクラブは安倍政権

アベノミクスは、すでに多くの悪弊を積み重ねています。たとえば、アベノミクスの株価重視のために年金積立金も株価支えに投入され、大きな赤字を出しています。非正規労働者が4割近くとなり、失業率は改善しても、雇

用の劣化は最悪です。雇用の劣化は、税収減、保険料収入減となり、社会保障の財政基盤を崩します。選挙後、要介護1、2の生活援助などを介護保険から除外する、後期高齢者医療制度保険料の減免措置を縮減するなど実

## 底上げ・底支えによる

### 社会の好循環達成へ

JAMシニアクラブ会長 大山 勝也

下の改憲に反対し、安全保障関連法の廃止を求め、政治の流れを変えるために取り組みます。

シニアクラブの中で、税金と社会保障料の引き上げではなく、税金を投入することを求めます。そのために、

反対して取り組みます。財源については、保険料の引き上げではなく、税金を投入することを求めます。そのために、



### 主張

下の改憲に反対し、安全保障関連法の廃止を求め、政治の流れを変えるために取り組みます。

シニアクラブの中で、税金と社会保障料の引き上げではなく、税金を投入することを求めます。そのために、

また15年を振り返って活動を見直すシニア活動検討委員会とメンバーが確認された。経過報告は本部報告を一部補強し承認され、会計決算・監査報告、予算も満場の拍手で承認された。最後に木村副会長の閉会挨拶で終了した。



挨拶する宮本礼一 JAM会長



津田弥太郎前参議院議員 「シニアの皆さんには12年間大きな力を頂き大変お世話になりました。シニアの活動は思い出づくりが大事です。長野の会員として会員拡大に協力していきたい」



退職者連合石原喜久副会長 「働き方ではなく働かせ方の検討を進めるとんでもない政権から私たちの代表による政治へ主導権を取り戻さなければならぬ」



橋村良夫顧問の乾杯 「準備会から参加した立場として15周年を迎えたことは感無量です」



# 結成15周年記念パーティー この瞬間を大切に20周年への飛躍を誓う 悲願の会員1万人へ決意も新たに挑戦



野弘二事務局長の司会で進められ、木村副会長が開会挨拶、シニアを代表して大山会長は15周年を迎えたことを

と挨拶した。来賓のJAM宮本礼一会長は「参議院選挙は残念な結果になったがJAMの体制を立て直すのが私の役目」と語り、ものづくり基盤の強化や社会保障の充実と労働ルール作りにしつかりと取り組んでいくと力説した。その後、退職者連合の石原喜久副会長は最後に田子副会

結成15周年記念パーティーは全国代表者会議終了後の午後5時より、代表者会議出席者に加え、シニア本部三役経験者と現役JAM三役、津田弥太郎前参議院議員、退職連合本部役員など77名の出席で開催された。準備会からの関係者や現役、新役員など幅広い年代層の皆さんが一堂に会し、久しぶりの再会を懐かしみ結成時の苦労話や近況、政治談義を元気に会話する光景が見られた。

記念パーティーは大々とも祝い「壁にぶつかっている会員拡大には現役の協力のもと集まりやすい地域のシニアクラブづくりを進め1万人達成を目指す」と挨拶した。

長と津田弥太郎前参議院議員から祝辞を受け15周年を祝い、橋村顧問の乾杯の音頭で祝宴がスタート。

アルコールが進むにつれ会場の彼方此方で久し振りの再会を喜ぶ声やお互いの姿形の変化と体調などを話題に語るグループや懐かしい結成当時の苦労話に政治談議にと現役も加わりながら会話に花が咲いた1時間半であった。最後に田子副会

